

# 無症候中高年集団におけるヘリコクター・ピロリ菌の最適な除菌効果を評価するための長期追跡研究

## 1. 研究の対象

2013年7月25日～2017年3月31日に岩手県において岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構が実施した東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査に参加した方

## 2. 研究期間

研究実施許可後～2026年3月31日まで

## 3. 研究目的・方法

本研究の目的は、症状が無いピロリ菌抗体陽性の方の除菌治療による胃がんリスクの減少効果を、遺伝要因のみならず、生活習慣・環境要因で層別化し、除菌治療に最も適した集団を明らかにすることです。

2013年7月25日～2017年3月31日にピロリ菌抗体が測定され、さらに除菌治療に関する情報を取得している、一般住民の方を対象とした4つのコホート研究（東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査、JPHC-NEXT、山形コホート、東京胃がん検診追跡調査）の参加者約19万人のうち無症候性陽性者を生活習慣・環境要因（年齢、性別、喫煙、飲酒等）で層別化したうえで、除菌治療による胃がんリスク減少効果（ハザード比、オッズ比等）を算出し、4つのコホート研究で算出されたリスク減少効果を統合して除菌治療に最も適した集団を同定します。

## 4. 研究に用いる情報

情報：ピロリ菌抗体検査結果（陽性、陰性）、ピロリ菌除菌治療歴の有無、胃がん罹患の有無、等

## 5. 外部への情報の提供

本研究では、参加者個人の情報は提供しません。集団で計算された統計量（胃がんリスク）のみを提供します。

## 6. 研究組織

共同研究機関

国立がん研究センター 澤田典絵  
愛知県がんセンター（研究所） 松尾恵太郎  
東北大学 寶澤篤  
山形大学 上野義之  
横浜市立大学 後藤温

## 7. 研究費および利益相反

研究費は国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究に参加された方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究参加された方に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手県紫波郡矢巾町医大通 1-1-1

岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座 丹野 高三

電話 019-651-5111 内線 5775

研究代表者：

国立がん研究センター 澤田典絵

-----以上